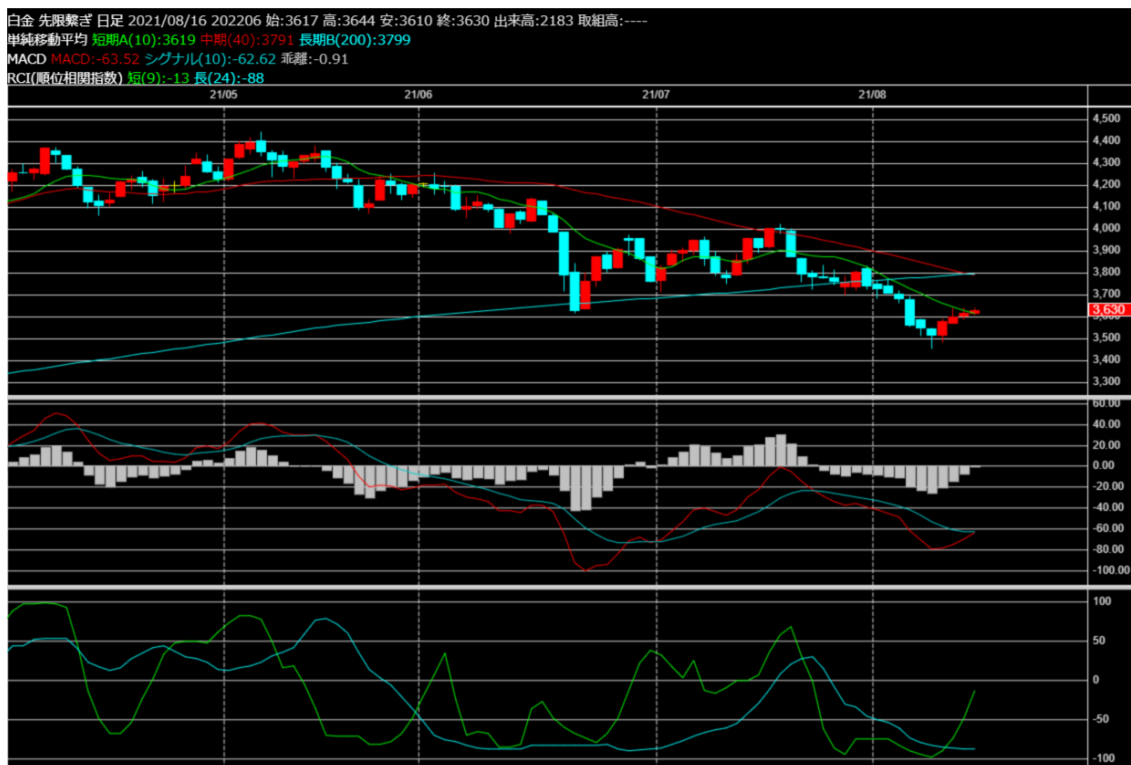


<白金標準先物、3645 円を超えて 3800 円へ>



(出所：オアシス)

先週の白金標準先物は、中国の経済指標の低下、新型コロナ・ウイルスの感染拡大に伴う移動制限、また早期のテーパリング開始の観測などで昨年 12 月以来の 3455 円まで下値を模索したが、経済指標の低下に NY 白金の 1000 ドル回復の動きを受けて、3645 円まで 190 円の戻りを見せている。特に白金標準先物は、金標準先物と違い中国要因が下値模索の主要要因であり、今週明けに発表される中国の小売売上高、鉍工業生産の結果に注目される。また雇用統計を受けた早期のテーパリング開始の思惑は、18 日の FOMC 議事録や 26 日の FRB 年次シンポジウムへと移行する状況である。特に白金標準先物は、雇用統計以降は一時的に売り込まれているが、既に 3600 円を回復しており、雇用統計が発表される以前の水準である 3800 円に向けて戻りを強めて来ると思われ、今週の 3645 円を超える高値更新に注目したい。

(2021 年 8 月 15 日記載)

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD において **MACD** が **シグナル** を超える基調転換を示すクロスが発生し、また RCI でも **短期** が上昇して、**長期** の下げ止まりを上回るなど、強気を示す動きを見せている。そのため日足が **10 日移動平均線** を超えるなど、3455 円で目先の下値を確認した値動きに思える。

NYMEX 指定倉庫在庫 (トロイオンス) : 555820 (前週比-19700)

世界プラチナ ETF 残高 (トン) : 74.73 (前週比-0.29)